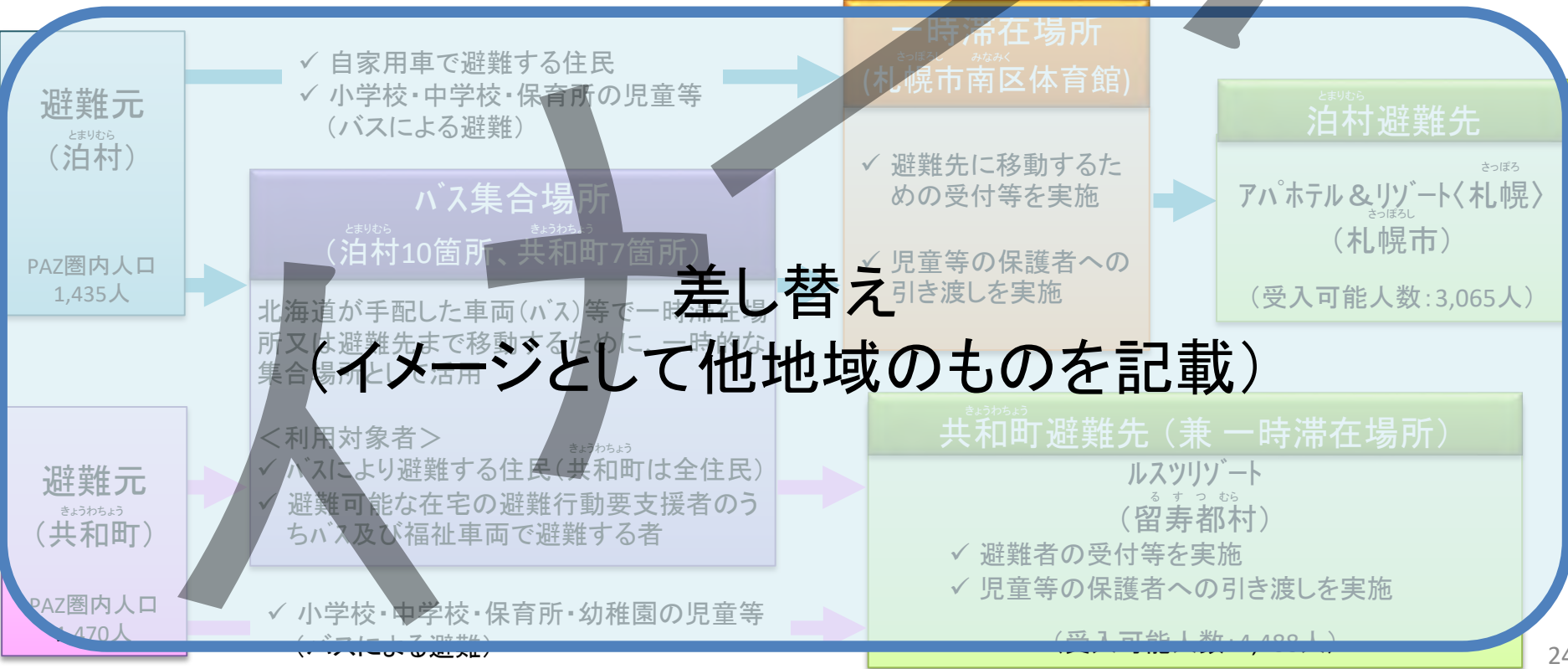


PAZ内における避難体制

- 警戒事態が発生した場合、東海村、日上市、ひたちなか市及び那珂市は住民広報、バス集合場所の開設を行い、茨城県は〇〇〇〇に住民避難用バスの準備要請を行う。また、茨城県並びに東海村、日上市、ひたちなか市及び那珂市は避難所の開設準備要請を行う。一方、避難行動要支援者等は、避難準備等を行う。
- 施設敷地緊急事態になった場合、東海村、日上市、ひたちなか市及び那珂市は、住民へ避難準備の周知を行う。一方、避難行動要支援者等は、支援者が同行することで避難可能な者等はあらかじめ定められた避難先へ避難を開始する。なお、無理に避難すると健康リスクが高まる者は屋内退避を実施する。
- 全面緊急事態になった場合、東海村、日上市、ひたちなか市及び那珂市は住民に避難を指示。自家用車で避難する住民は避難先へ移動する。バスにより避難する住民は、バス集合場所に集合後、避難先へ移動する。



差し替え
(イメージとして他地域のものを記載)

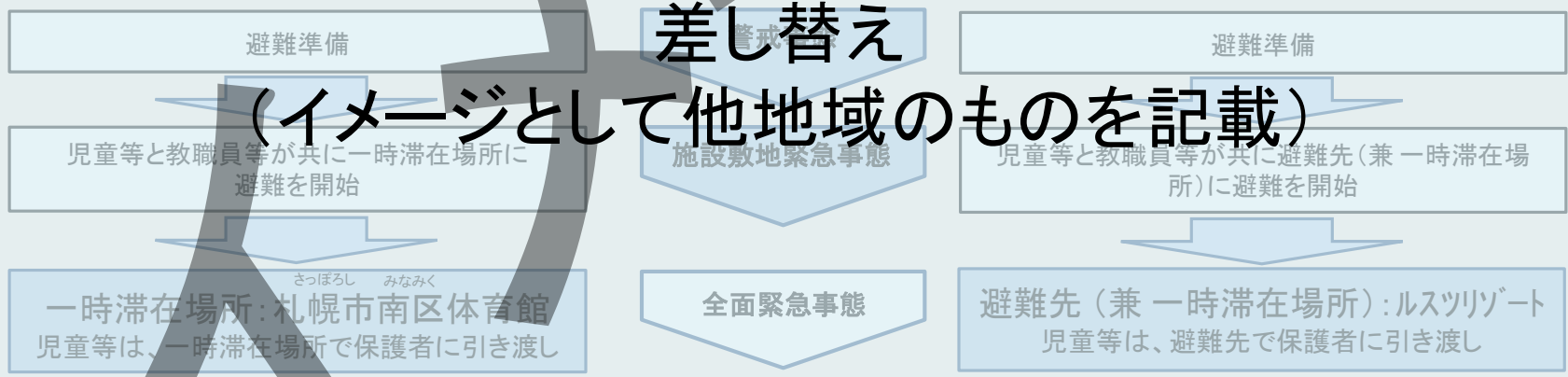
- PAZ内の小・中・高等学校の児童等(●施設、約●人)及び保育所・幼稚園の幼児(●施設、約●人)は、施設敷地緊急事態になった場合、避難準備を開始し、全面緊急事態になった場合、教職員等とともに避難先に移動。その後、児童等の保護者への引き渡しを実施。
- 学校・保育所・幼稚園において個別避難計画を策定中。

泊村			
施設名	人数		
	児童等	教職員等	合計
泊小学校※1	89人	14人	103人
泊中学校	50人	15人	65人
とまり保育所	38人	8人	46人
合計	177人	37人	214人

共和町			
施設名	人数		
	児童等	教職員等	合計
北辰小学校	79人	11人	90人
共和中学校※2	39人	3人	42人
はまなす幼児センター	55人	18人	73人
合計	173人	32人	205人

差し替え

(イメージとして他地域のものを記載)



※1: 泊小学校はUPZ圏に所在するが、PAZ圏内に自宅が所在する児童がいることから施設敷地緊急事態で避難を開始。
 ※2: 共和中学校はUPZ圏に所在するが、全生徒(157人)のうち、PAZ圏内に自宅が所在する生徒(39人)及び生徒に随行する教職員等(3人)については、施設敷地緊急事態で避難を開始。なお、UPZ圏内に自宅が所在する生徒(118人)は、施設敷地緊急事態で帰宅を実施。
 ※3: 児童等の人数については、平成28年4月1日現在

PAZ内の医療機関の避難

- PAZ内の医療機関(●施設●人)については、避難先となる医療機関を調整中。避難先となる医療機関の決定後、避難計画を策定予定。
- 無理に避難すると健康リスクが高まる者は、放射線防護対策を講じた屋内退避施設において、避難に必要な準備が整うまで屋内退避を実施。避難可能な入院患者は、あらかじめ定められた避難先施設へ避難を実施。
- 何らかの事情で、あらかじめ選定しておいた避難先施設が活用できない場合には、茨城県が受入先を調整。

<PAZ内●施設の入所者等の避難の考え方>

避難元施設

<放射線防護対策施設>

市町名	施設名	施設種別	定員数
げんかいちょう 玄海町	げんかいえん 玄海園	特別養護老人ホーム	100人
からつし 唐津市	ほうじゅそう 宝寿荘	特別養護老人ホーム	80人

計180人

(無理に避難すると健康リスクが高まる者69人
(それ以外の者111人))

市町名	施設名	施設種別	定員数
げんかいちょう 玄海町	グループホーム つばき	認知症グループホーム	9人
からつし 唐津市	グループホーム なごやか	認知症グループホーム	18人

計27人

自施設(放射線防護対策施設)内での退避

差し替え

(イメージとして他地域のもものを記載)

避難先施設

施設種別	市町名	受入見込人数
特別養護老人ホーム	佐賀市 (3施設) たくし 多久市 (1施設) おぎし 小城市 (4施設)	180人

計180人

避難先	受入見込人数
避難所 おぎし 小城市 (1施設) ごうほくまち 江北町 (1施設)	27人

計27人

※3 輸送等の避難準備完了後、あらかじめ定められた避難先施設へ避難

※4 避難可能な入所者等は、あらかじめ定められた避難先施設へ避難

※5 福祉避難所へ移動が必要な者は、避難所で指定された福祉避難所へ移動

※1 佐賀県が避難先となる災害拠点病院を選定

※2 無理に避難すると健康リスクが高まる者は自施設内で屋内退避

PAZ内の社会福祉施設の避難

- PAZ内の社会福祉施設(●施設●人)については、避難先となる施設を確保済み。各施設において避難計画を策定中。
- 無理に避難すると健康リスクが高まる者は、放射線防護対策を講じた屋内退避施設において、避難に必要な準備が整うまで屋内退避を実施。避難可能な入所者等は、あらかじめ定められた避難先施設へ避難を実施。
- 何らかの事情で、あらかじめ選定しておいた避難先施設が活用できない場合には、茨城県が受入先を調整。

<PAZ内●施設の入所者等の避難の考え方>

避難元施設

避難先施設

<放射線防護対策施設>

市町名	施設名	施設種別	定員数
けんかいちょう 玄海町	げんかいえん 玄海園	特別養護老人ホーム	100人
からつし 唐津市	ほうじゅそう 宝寿荘	特別養護老人ホーム	80人

計180人

(無理に避難すると健康リスクが高まる者69人)
(それ以外の者111人)



差し替え

(イメージとして他地域のもものを記載)

市町名	施設名	施設種別	定員数
けんかいちょう 玄海町	グループホーム つばき	認知症グループホーム	9人
からつし 唐津市	グループホーム なごやか	認知症グループホーム	18人

計27人

施設種別	市町名	受入見込人数
特別養護老人ホーム	佐賀市 (3施設) たくし 多久市 (1施設) おぎし 小城市 (4施設)	180人

計180人

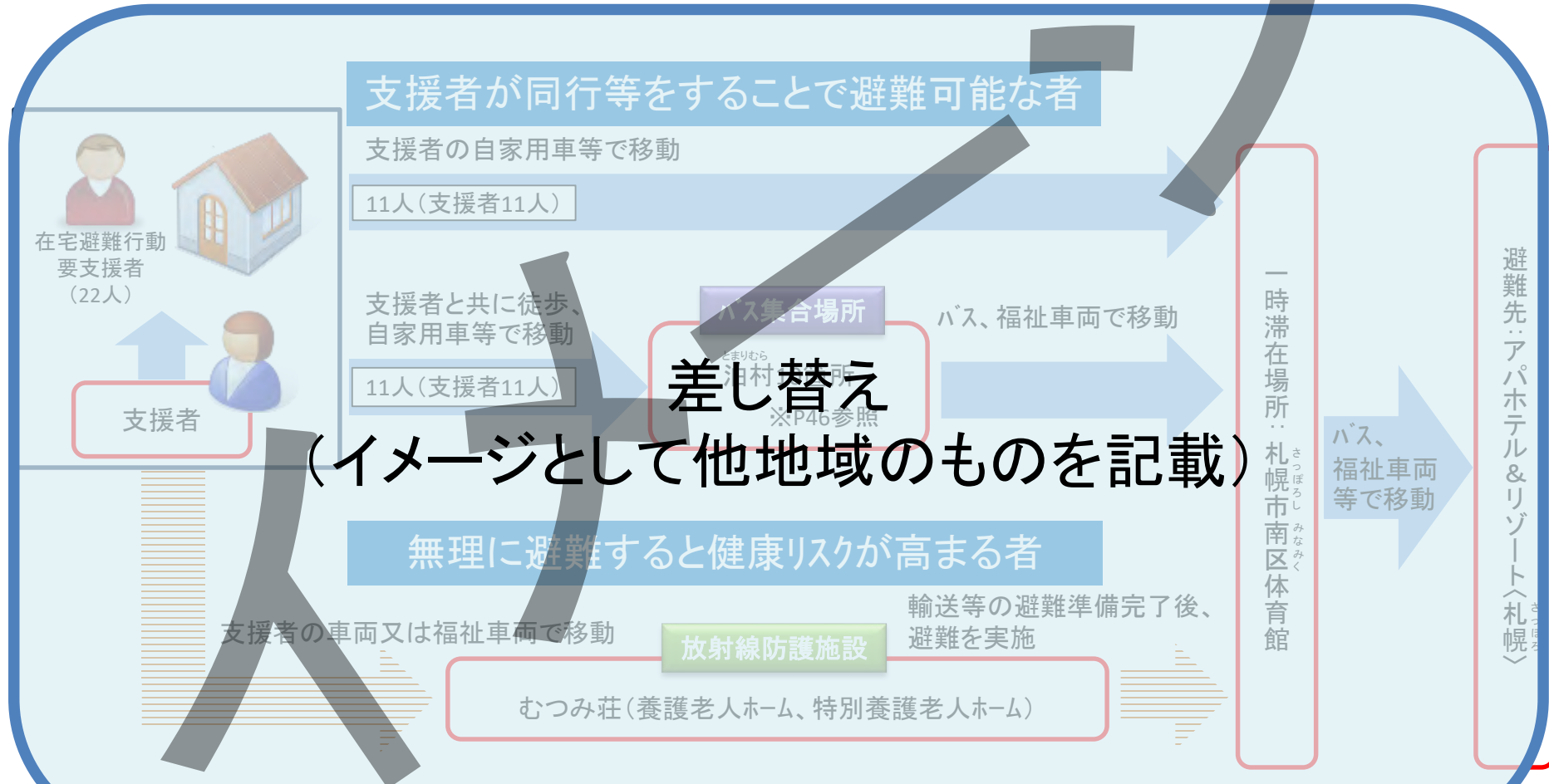
避難先	受入見込人数
避難所 おぎし 小城市 (1施設) ごうほくまち 江北町 (1施設)	27人

計27人

- ※3 輸送等の避難準備完了後、あらかじめ定められた避難先施設へ避難
- ※4 避難可能な入所者等は、あらかじめ定められた避難先施設へ避難
- ※5 福祉避難所へ移動が必要な者は、避難所で指定された福祉避難所へ移動

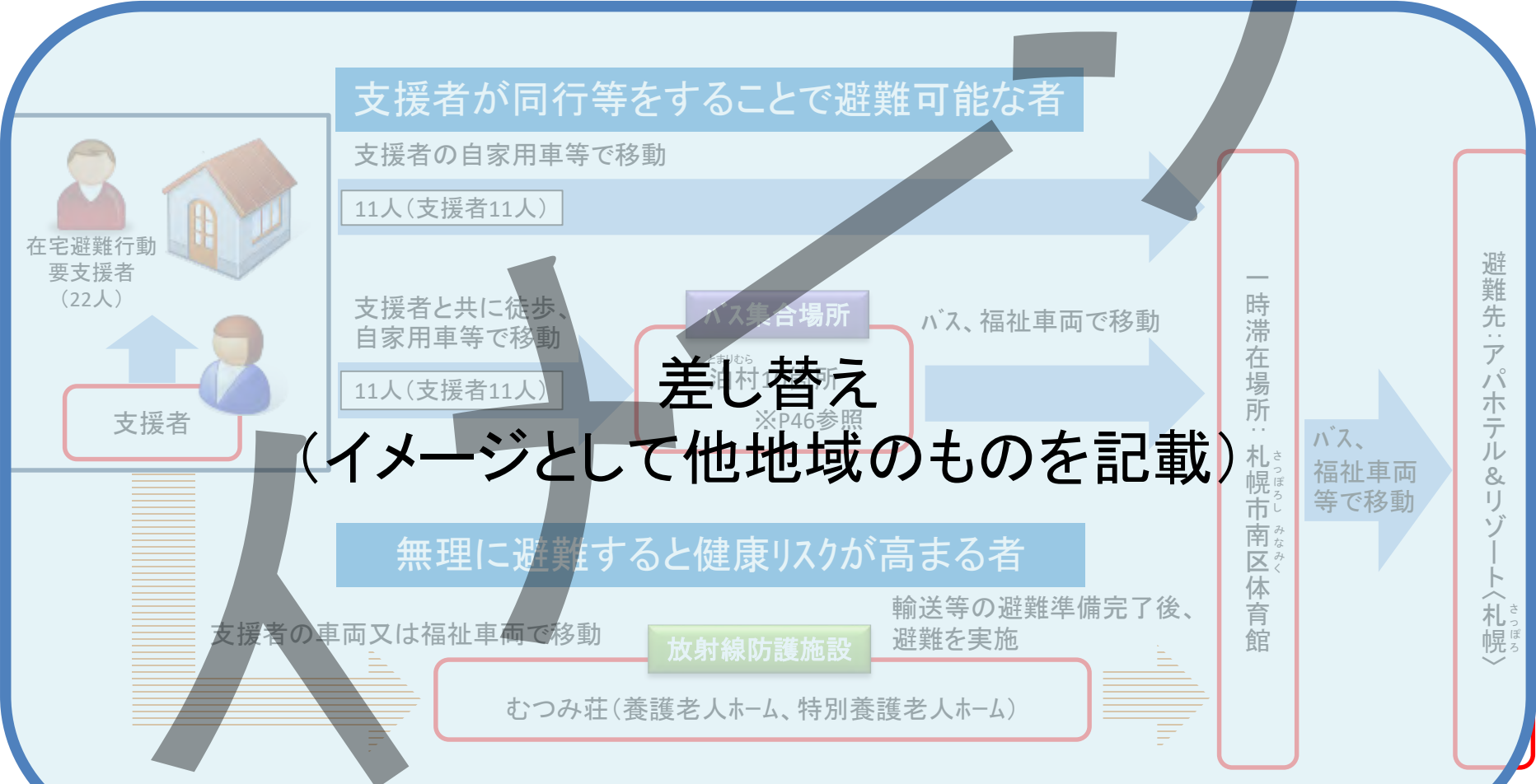
- ※1 佐賀県が避難先となる災害拠点病院を選定
- ※2 無理に避難すると健康リスクが高まる者は自施設内で屋内退避

- **在宅の避難行動要支援者は把握済み。個別計画は策定済み・策定中(要確認)**
- 支援者の同行により避難可能な者は、支援者の車両又はバス等で避難先へ移動。
- 無理に避難するとかえって健康リスクが高まると判断される場合は、支援者の車両又は福祉車両で、近傍の放射線防護施設へ移動。



※ 避難行動要支援者の数は平成28年3月1日現在。

- **在宅の避難行動要支援者は把握済み。個別計画は策定済み・策定中(要確認)**
- 支援者の同行により避難可能な者は、支援者の車両又はバス等で避難先へ移動。
- 無理に避難するとかえって健康リスクが高まると判断される場合は、支援者の車両又は福祉車両で、近傍の放射線防護施設へ移動。



※ 避難行動要支援者の数は平成28年3月1日現在。

ひたちなか市におけるPAZ内の在宅の避難行動要支援者の避難

- 在宅の避難行動要支援者は把握済み。個別計画は策定済み・策定中(要確認)
- 支援者の同行により避難可能な者は、支援者の車両又はバス等で避難先へ移動。
- 無理に避難するとかえって健康リスクが高まると判断される場合は、支援者の車両又は福祉車両で、近傍の放射線防護施設へ移動。

支援者が同行等を行うことで避難可能な者

支援者の自家用車等で移動

11人(支援者11人)

支援者と共に徒歩、
自家用車等で移動

11人(支援者11人)

バス集合場所

バス、福祉車両で移動

差し替え
※P46参照

(イメージとして他地域のものを記載)

無理に避難すると健康リスクが高まる者

支援者の車両又は福祉車両で移動

放射線防護施設

輸送等の避難準備完了後、
避難を実施

むつみ荘(養護老人ホーム、特別養護老人ホーム)

一時滞在場所…
札幌市南區区体育館
さっぽろしみなみく

バス、
福祉車両
等で移動

避難先…
アパホテル&リゾート(札幌)
さっぽろ



在宅避難行動
要支援者
(22人)



支援者

- 在宅の避難行動要支援者は把握済み。個別計画は策定済み・策定中(要確認)
- 支援者の同行により避難可能な者は、支援者の車両又はバス等で避難先へ移動。
- 無理に避難するとかえって健康リスクが高まると判断される場合は、支援者の車両又は福祉車両で、近傍の放射線防護施設へ移動。

